

上海道札
覽

德臣科
大為子

因三
馬
山
名
序





大阪市西區南堀江通壹丁目
勝本忠兵衛

すのきしるしる出さる
お見任は徳富の城
縁のむ何のむ
必らぬは理とあらぬ
ねへ自前もあはれ
へ心こもりけり
大好物のむに打
意路にあらぬ
あまのしるし
うしゅうのしるし
徳富のむ
定二日
城のむ
副
何

行

宅二日一 城の崎温泉

集る心腹の事 別！何家

が心腹と申す譯に其

の、温泉一人行も面白

からん表面より城崎

行と不在中と可

定むとゴロと朝 居ん

苦心した家多敷と

上日と上り上り上り上り

類伊勢集家宮職二百餘十名も何家
あるは強要せられ
千世うち同あふ

一時は得ぬ所の中

和氣の若くするは際

かをち鳴と録めて後

の行其行と観察の邊

天竺の若くは...

やまを鳴きと鐘めし波た

の将古此と観察望

視の鐘と乘取竹葉も

物管上の一頁保知と浮

と年と出とつとふ如

とたふふたふとつと

とつとつとつとつと

つとつとつとつと

つとつとつとつと

十丁目

時

つとつとつと